

令和 2 年度 墨田区立梅若小学校 経営報告書

令和 3 年 3 月 1 日

| | |
|-------------|--|
| 学 校 目 標 | 人にやさしく、自分に強く |
| 目 指 す 学 校 像 | <ul style="list-style-type: none"> ○梅若クオリティー 教育の質の向上を図る学校 <ul style="list-style-type: none"> ・児童一人一人を大切に、たしかな学力と豊かな心情を育成し、梅若小学校で学ぶ喜びと誇りのもてる教育質の高い学校 ○梅若プライド(誇り) 教育者としての誇りをもつ学校 <ul style="list-style-type: none"> ・梅若小学校教職員として自覚と使命をもって互いに協力し合い、梅若小学校で働く喜びと誇りのもてる学校 |
| 目 指 す 子 供 像 | <ul style="list-style-type: none"> ○自ら学ぼうとする意欲をもち、進んで挑戦する子供 <ul style="list-style-type: none"> ・学ぶことが楽しい、もっと知りたいと思えることが主体的な学習である。子供たちの学びの意欲が高まる教育を目指す。 ○よく聞き、しっかり伝え、お互いに大切にすること子供 <ul style="list-style-type: none"> ・友達のことを知る、自分との違いを受け入れることから、円満な人間関係は始まる。一人一人を大切にする教育を行う。 ○自分の役割と責任を果たし、協力し合う子供 <ul style="list-style-type: none"> ・子供たち一人一人に適切な役割があり、達成し、完成させ、果たす満足感と責任感を味わわせ、自己肯定感を養う。 |
| 目 指 す 教 師 像 | <ul style="list-style-type: none"> ○愛情をもって子供と関わり、温かくも厳しく指導する教師 ○向上心を常にもち、自己研鑽に努める教師 ○教職員として自覚と使命をもち、保護者や地域から信頼される温かい教師 |

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

| 項目 | 評価項目 | 自己評価 | | 学校関係者評価 | |
|--------|---|------|---|----------|---------|
| | | 達成状況 | 改善策 | 自己評価について | 改善策について |
| 各教科等指導 | 学校は、子供に確かな学力を育てるために、分かりやすい授業の実施に努めているか。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決型の授業を各教科でさらに進め、児童がより分かりやすく主体的で意欲的な楽しい学習を行うよう努める。 ・梅若メソッド 18 を確実に進め、基礎学力の向上を図る。また、タブレット端末を活用した効果的で効率的な学習を進め、家庭学習の充実も図る。 | B | B |
| | 学校は、特別な支援を必要とする子供に対して、組織的に適切な支援を行っているか。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援委員会を定期的に開催し、特別に支援が必要な児童のほか、不登校やいじめに対して組織的に迅速な対応と支援をする。 ・特別支援教室、日本語教室と連携を深め、相互の情報交換と共有によってよりよい支援を図っていく。 ・児童相談所、子供と家庭センター、警察などの関係機関とも連携し、情報共有しながら支援していく。 | B | B |
| | 学校は、子供の将来の自立に向けた進路指導・相談活動に取り組んでいるか。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアパスポートを活用し、見通しをもったキャリア教育を行う。 ・ICTを活用した中学校との連携を行い、情報の収集と意見交換を通して進学進路指導を行う。 | B | B |
| | 学校は、教員の指導力・授業力を高めるために組織的に取り組んでいるか。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・授業力向上のために課題解決型学習研修会を年間 1 5 回以上行い、教師は必ず課題解決学習を行って授業力を向上させる。梅若メソッド 18 を実行させ、効果的に学力向上を図る。 ・特別支援教室、日本語学級を含めた相互授業交流を行う。 | B | B |
| | 学校関係者評価委員会の意見等 | | <ul style="list-style-type: none"> ・2020 年度は新型コロナウイルス感染症のため、読み聞かせをはじめとして学校に行く機会がなかったためにこれまでのような評価ができませんが、近所での子供たちの様子や学習発表会を見学して印象をもとに記入しました。特に 6 年生の「自分新聞」などは時間をかけて読ませていただきました。子供たちが自分を見つめ直し、親のこと家族のことがリアルに書かれていて一人一人の子供たちの思いを知る上で大切な資料でした。先生たちも大変だったことでしょう。これからも子供ファーストで学校運営をお願いします。保護者アンケートで「お子さんは | | |

様式 4

| | |
|--|---|
| | 学校生活を楽しんでいると思いますか。」が 96%も占めていることは大変なことですが、ぜひ4%のことも忘れないでください。「お子さんはよく本を読んでいると思いますか。」も大変気になります。 |
|--|---|

| 項目 | 評価項目 | 自己評価 | | 学校関係者評価 | |
|---------|---|------|--|----------|---------|
| | | 達成状況 | 改善策 | 自己評価について | 改善策について |
| 生活指導等 | 学校は、子供の問題行動の予防や解決に組織的に取り組んでいるか。 | B | <ul style="list-style-type: none"> 特別支援会議を年間2回開く。また、毎週生活指導夕会を開き最新情報を共有する。 ケース会議を開き、また、特別支援教室や日本語教室、スクールカウンセラー、外部機関との連携を深めるとともに、いかなる問題にも組織を上げて対応する。 専門家による巡回相談を活用し、年間3回以上行う。 | B | B |
| | 学校は、子供が基本的な生活習慣を身に付け、望ましい人間関係を作るための心の教育を行っているか。 | B | <ul style="list-style-type: none"> たてわり班活動や異学年交流ができない現状においても ICT を活用したり、工夫したりして人を思いやる望ましい人間関係作りの素地を培う。 思いやりの木の取組を年間2回以上行い、優しい心を育てる。 挨拶励行の朝会講話を効果的に行うとともに、全学年で挨拶運動を年間2回以上行い、挨拶の活性化を図る。 全校朝会時の校長講話を活用し、いじめ防止に関する講話を月に1回以上、継続して行う。 | B | B |
| | 学校は、子供の安全を確保するための取組を行っているか。 | B | <ul style="list-style-type: none"> リアリティーや危機感のある避難訓練計画を作成し、児童の防災能力の向上を図るとともに、教職員の救助能力を向上させる。 解錠ボタンを施錠化し、門等の施錠を厳格に行う。 | B | C |
| | 学校は、子供や保護者からの意見や要望を把握し、教育活動の点検や改善に役立っているか。 | C | <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍であるからこそ、諸取組や諸行事などを通して保護者から意見や要望を寄せてもらえる手段を用意する。 ICTやタブレット端末を活用した意見集約の方法を確立し、意見や要望を迅速に学校経営に反映できるようにする。 学校公開や各行事後のアンケート等で寄せられた意見に迅速に対応し、学校だより等を通して周知する。 | B | B |
| | 学校関係者評価委員会の意見等 | | <ul style="list-style-type: none"> 今年度はコロナ禍により、学校へ伺う機会が全くなく、アンケートに答えるのは控えるべきなのかとも思いました。しかし、外で見る子供たちの様子や、送られてきた保護者のアンケート結果を読ませていただき、学校の努力と保護者の学校への信頼がそこに読み取れ、回答することにしました。来年度は自分の見たままのアンケート回答ができることを願っています。 校内靴について不安の声が多くあります。分かりやすい説明をお願いします。変更の背景やメリット、デメリットを踏まえて検討した経緯、またどんな履き物がOKで、どんな履き物がNGか具体的にお示しください。 配布物のメール発信について、効率的である一方、子供の責任感を排除するなどのデメリットがあります。コミュニケーションについては、先生と保護者が直接やりとりできる連絡帳は残しつつ、ipad をうまく活用するなど工夫をしていただければと思います。 | | |
| 項目 | 評価項目 | 自己評価 | | 学校関係者評価 | |
| | | 達成状況 | 改善策 | 自己評価について | 改善策について |
| 学校の管理運営 | 学校は、管理職の経営方針に基づき、組織的な教育活動・学校運営を行っているか。 | B | <ul style="list-style-type: none"> 校務分掌を分かりやすく効率的で、教職員各自の力量に応じた組織に改編し、校長の学校経営方針を余すことなく実現できる組織とする。 学校組織力向上のため、各学年や部署から招集した組織で課題解決に当たる。職員の能力を最大限に活用するとともに、一人で課題を抱えない組織とする。 | B | B |
| | 学校は、子供の実態に合わせた具体的な目標の設定及び評価を適切に行っているか。 | B | <ul style="list-style-type: none"> 教育目標に応じた学級目標を設定させ、児童が個々の目標を立てやすくする。また、校長は、教育目標に関する講話を行う。 児童の状況を把握するために、年間2回以上児童アンケートを実施し、教育目標の達成度を測る。 | B | B |

様式 4

| | | | | | |
|--|---|---|--|----------|----------|
| | <p>学校には、適切な教育活動が行える環境・設備等が整えられているか。</p> | <p>B</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・GIGA スクール構想を校内で効果的、効率的に学習に反映させるために、情報担当教員を置く。また、ICTを活用した学習方法を開発し、学力の向上につなげる。 ・生活指導部や担任が施設設備や環境の安全点検を毎月行うだけでなく、課題点を教職員で共有し改善に当たる。 | <p>B</p> | <p>B</p> |
| | <p>学校関係者評価委員会の意見等</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・行事の公開がほとんどなく、訪問が制限されている反面、一度校門に入ってしまうと消毒の声かけなどもなく、フリーで校内には入ってしまうのは安全面でいかかと思いました。 ・安全管理の意見で、電子タグによる見守りシステムの導入を要望している意見があります。これについてはPTAで以前検討しております。有料であること、学校側でも多少の維持管理が必要であること、電子タグがうまく機能しない場合にはかえって保護者の心配を煽る可能性があることなどの理由で導入しないことを決めています。学校主導で導入していただけるようであればご検討ください。 | | | |

| 項目 | 評価項目 | 自己評価 | | 学校関係者評価 | |
|---------|--|---|---|----------|----------|
| | | 達成状況 | 改善策 | 自己評価について | 改善策について |
| 家庭・地域連携 | <p>学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを分かりやすく伝えているか。</p> | <p>C</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で現象や中止した学校公開や諸行事、授業参観などをできる限り ICT の活用や工夫によって新しい様式を開発する。 ・ホームページの更新を定期的に行い、コロナ禍での情報発信を強化する。 | <p>C</p> | <p>B</p> |
| | <p>学校は、保護者や地域の理解や協力を得て教育活動を進めているか。</p> | <p>C</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍においても地域の読み聞かせボランティアをはじめ、多くの方に協力を得られるように工夫した取組を行う。 ・学校運営連絡協議会やPTAと情報を共有して議論や話し合いをこれまで以上に活発にする。子供たちの指導や支援を学校内外で連携的に進める。 | <p>C</p> | <p>C</p> |
| | <p>学校関係者評価委員会の意見等</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者も学校見学がなく様子がわからないので不安そうですね。学校見学がなく様子がわからないので不安そうですね。 ・学校は学校の経営方針があり、地域は地域として子供たちを思い、考えがあります。基本的に子供たちへの思いは同じだと思いますが、多少ずれを感じる時があります。もっと話し合いをした方が良いと思います。(コロナ禍の中で難しいとは思いますが。) ・コロナ禍というかつてない状況の中で、新しい方法を模索し大変な努力をされていること、ありがたいと思います。やむを得ない部分もありますが、やはり保護者と地域とのつながりが薄いと感じます。前回の学校運営協議会でも感じたことですが、学校からの情報発信に委員が意見を述べて終わりではなく、その後のフィードバックや意見交換があれば有益なのではないでしょうか。地域の力をもう少し信頼していただき、共に子供たちのために力を合わせていければと思います。 ・今年度は様々な行動制限される状況の中ですが、いつも丁寧な連携をとらせていただき感謝申し上げます。今後ともよろしく願いいたします。 ・今後も一緒に地域で子供たちを見守っていければと思いますので、よろしく願いいたします。 ・子供たちの安全も守りつつ、心身共に成長する機会を与えられなかったこと、学校・保護者・地域が連携して様々な問題について議論できなかったこと残念に思います。学校・保護者・地域が力を合わせ、今の穏やかな梅若小学校があります。子供どうし、保護者どうし、学校と保護差などのコミュニケーションが不足するとお互い理解し合えず、関係は悪くなります。新型コロナウイルスをきっかけに梅若小学校が悪化することがないよう願うばかりです。目に見える成果のみを伸ばすのではなく、目に見えていない問題にいち早く気づくことが必要だと思います。感染症対策をした上での学校行事が以前と同じように再開されることを願います。梅若小学校の子供たちの成長、特色を生かした学校運営を希望いたします。梅若小学校の子供たちをどこよりも一番に想っていただきますよう、よろしく願いいたします。 ・子供たちの学校での様子がわからないという意見が多く、PTA としてももう少し保護者参観の機会について強く学校へ要望すれば良かったと反省しています。今後、工夫して実施していただけることを期待しています。 ・緊急メールについては、保護者の意見を参考に運用を見直していただくことを希望します。 | | | |

様式 4

2 令和2年度学校評価のまとめ

- ・本年度は、コロナ禍において異学年児童交流と子供同士の学び合いや話し合いということが十分にできなかった。そのため、子供同士が関わりの中で自他を育むことが不十分であったと考える。ICT環境が整ったこともあり、来年度は新しい様式の中で子供同士の関わりを開発していかなければならない。
- ・保護者や地域の皆様からコロナ禍における本校の教育活動を肯定的に応援していただくことができた。その中で最も課題となったことが、学校の様子を伝えていくことだった。学校生活の様子がわからないことは、保護者にとって不安であり心配なことである。様々な情報発信手段を駆使するとともに、コロナ禍においても学校公開や行事参観などができる方法を考えていかなければならない。
- ・来年度以降も新しい学校生活様式を確立しながら、学びを保証し、感染症防止に取り組まなければならない。特に入校者の管理については厳密に行い、検温や消毒、導線管理などによって感染症を校内で拡大させないようにしていく。
- ・各町会との連携については、災害時の防災協力や避難所運営に関して合意することができた。墨田区内では最も先進的な取組になっている。

以上の通り報告いたします。

墨田区立梅若小学校 校長 安藤 芳典 公印